

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	中島 大之
主な担当科目	合奏Ⅲ①,合奏Ⅲ②,合奏Ⅲ③,合奏Ⅲ④,合奏Ⅳ①,合奏Ⅳ②,合奏Ⅳ③,合奏Ⅳ④,合奏特別演習②,器楽
2025年の 教育目標・授業に 臨む姿勢	学生の目線に立ち、他人との比較ではなく、自己の日々向上を目指すことを方向づける。個人レッスンでは基礎練習の意味を理解させ、グローバルな演奏スタイルを学び、ホルンという楽器の特性からも、独奏のみならずオーケストラや室内楽などの合奏に適應できる能力を養う。合奏授業の指揮や指導に向けては、演奏様式やソルフェージュ的視点のみならず、楽曲やその作曲家の時代背景、社会環境などへの理解を深める。
2025年の教育に関 する自己評価	個人レッスンにおいては、基礎・エチュード・ソロ曲・オーケストラスタディという4本の柱を、個々のレベルやモチベーションを鑑みながら、バランス良く実践することができたと考える。合奏授業においては、合奏や分奏において指揮を担当する頻度が増えているが、全ての楽器の学生に対し、実践的技術と音楽に取り組む姿勢の方向づけにおいて一定の評価がなされたと考える。
2025年のFD活動 に関する自己評価	毎年のことであるが、FD活動の重要性を理解しつつ、自己の専門分野との関連性を思案している。全体研修会は、本学の教育方針や運営面の方向性を知る上で大変重要かつ有意義なもので、その理解が深まっていると考える。部会の研修会においては、主任という立場からも、他の教員達とのコミュニケーションをとりつつリーダーシップを取ることができたと考える。
授業改善のために 取り入れた研修内容	特になし。

2025 年度(秋学期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2115 教員名:中島 大之

1)アンケート結果に対する所見

実技レッスンにおいては、回答者全員が満足しているという結果であるが、今回も回答者数が半数以下であることから、慎重に受けとめたいと考える。

室内楽授業においても、回答者全員が満足している一方で、Q9 の回答を分析すると、「専門技能・知識」以外の分野での達成感がそれほど高くない傾向が見受けられる。

レッスンや授業に対するスタンスとしては、これまで同様に、それぞれの学生の個性を尊重し、常に新しい情報を取り入れ、グローバルな視野に立って指導を続けていきたい。

2)要望への対応・改善方策

特になし。

3)今後の課題

Q9 における設問は、実技科目にとって大変重要なポイントである。専門技能・知識に加えて、文化・教養、多様性理解、自己表現力、コミュニケーション能力、実践力という各項目すべてが備わってこそ、人の心を打つ高い水準の演奏が達成できるのだと思われる。改めて、技術のみならず多角的な指導を心がけていきたいと考える。

以 上